

評価結果ダイジェスト

福祉サービス第三者評価情報

評価結果ダイジェスト

▼全体の評価講評 ▼サービス分析結果 ▼利用者調査結果 ▼事業者のコメント

平成18年度

知的障害者通所授産施設[経過措置]

事業所名称	希望園
評価機関名称	特定非営利活動法人 NPO人材開発機構
評価者	修了者No.H0402001 修了者No.H0403062 修了者No.H0402005 修了者No.H0405004
評価実施期間	2006年6月30日～2006年11月11日

評点の見方

他年度の評価結果

[平成19年度評価結果](#)

[平成17年度評価結果](#)

[平成16年度評価結果](#)

全体の評価講評

▶ 詳細はこちらから

💡特に良いと思う点

- ・ 地域で共に暮らすために
- ・ 安心と継続した就労支援
- ・ 家庭の食生活への波及も見据えた豊かで美味しい食事

✓さらなる改善が望まれる点

- ・ 自立力の高い利用者へも個別支援計画の充実を
- ・ 中長期計画への取組みの強化と人事制度の改善
- ・ 支援マニュアル等の組織的な点検を

[このページの一覧上へ](#)

サービス分析結果

▶ 詳細はこちらから

サービスの実施項目

サービスの実施	評点
1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している	A
【講評】 <a href="#">続きを見る</a>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別支援計画は担当職員が原案を立てケース会議で合意を経て施設長の了解の後、利用者...</li> <li>・ 利用者の特性に応じたコミュニケーションの取り方の工夫として、写真や文字で作業の手...</li> <li>・ 自立生活に必要な情報は利用者で組織している自治会や自治会の役員の委員会で提供して...</li> </ul>	
2. 個別の支援計画に基づいて就労・日中活動等に関するさまざまな支援を行っている	A
【講評】 <a href="#">続きを見る</a>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授産作業のメニューは本園では①書類袋作成、パンフレット組みなどの受注作業②分場な...</li> <li>・ 工賃は法人で作成した工賃規定に基づいて支給している。内容は①作業として活動に参加...</li> <li>・ 年に1回就労の決まった利用者のための壮行会を実施したり、就労した元利用者のOB会...</li> </ul>	
3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している	A+
【講評】 <a href="#">続きを見る</a>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栄養士が中心となり、利用者・家族への嗜好調査を実施しデータを細かく分析してメニュ...</li> <li>・ 特別食は、腎臓食・高血圧の人のためのメニュー・糖尿病予備軍の利用者のためのメニュ...</li> <li>・ 介助が必要な利用者は4名いる。内訳としては食事をひっくり返してしまう利用者、摂食...</li> </ul>	
4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている	A
【講評】 <a href="#">続きを見る</a>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身の回りのことは自分で行えるように本園では①ロッカーをきれいにする②昼休みのお茶...</li> </ul>	

- ・衛生面・安全面に配慮した支援を行うために、利用者意向に沿い、トイレの床が滑って転...

## 5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている

A

### 【講評】[続きを見る](#)

- ・利用者の健康を維持するために年に一度の総合健診、2ヶ月に一度の嘱託医の内科医によ...
- ・来所してきた際の顔色や利用者の様子を見て必要と思われる人にはその都度バイタルチェ...
- ・現在、服薬介助が必要な利用者は1名で薬は職員室の鍵のかかるロッカーに入れて保管し...

## 6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている

A

### 【講評】[続きを見る](#)

- ・施設では障害者自立支援法の施行に伴い、授産施設は仕事をする場、として位置づけてい...
- ・利用者による自治会は月に一度行われ支援職員が同席し利用者自身が自分の意見を言える...
- ・建物は築20年と年数が経過しているが、作業室の間仕切りや扉の設置、壁の塗り替え、...

## 7. 施設と家族等との交流・連携を図っている

A

### 【講評】[続きを見る](#)

- ・家族会は家族の希望により、平成18年度は施設長主催が4回施設職員主催が6回予定さ...
- ・日常の様子を伝える手段としては、必要に応じて連絡帳を活用したりその都度電話で連絡...
- ・家族との協調は法人の懸案事項でもある。一施設一法人から始まった事業を様々なニーズ...

## 8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている

A

### 【講評】[続きを見る](#)

- ・歓迎会、けやきフェスタへの行政・地域住民を招待したり、ニコニコポーリング大会(地...
- ・法人全体でも「地域」という視点は重視している。月1回の地域障害施設のネットワーク...
- ・地域の資源の情報提供として掲示板に地域のお祭りの掲示や別の事業所の情報を提供して...

評点の内容  
▶ 詳細はこちらから

[このページの一番上へ](#)

## 利用者調査結果

▶ [詳細はこちらから](#)

有効回答者数/利用者総数  
32/39

### 1. 施設の中は安全に動けるようになっていませんか

はい	30人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

### 2. 食事はおいしいですか

はい	28人	どちらともいえない	1人	いいえ	3人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

### 3. 仕事や活動は楽しいですか

はい	30人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

### 4. 職員はみんな同じようにあなたに対応してくれますか

はい	27人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	4人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

### 5. 職員は、丁寧(乱暴な言葉を使ったり、命令したり、呼び捨てにしない)に接してくれますか

はい	27人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	2人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

### 6. あなたの気持ちをわかってくれる(相談できる)職員がいますか

はい	24人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	6人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

### 7. あなたが困ったとき、施設の職員は助けてくれますか

はい	26人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	6人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

### 8. 困ったことを外の人(第三者委員など)にも相談できますか

はい	10人	どちらともいえない	0人	いいえ	13人	無回答・非該当	9人
----	-----	-----------	----	-----	-----	---------	----

9.工賃・給料の支払いのしくみは、わかりやすく説明されていますか

はい	18人	どちらともいえない	0人	いいえ	7人	無回答・非該当	7人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

10.施設に、あなたが来る事を喜んでくれる仲間がいますか

はい	31人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

11.あなたの目標・計画について、いっしょに考えわかりやすく説明してくれましたか

はい	24人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	6人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

12.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】利用する前に、施設での生活や支援内容など、知りたいことについてわかりやすい説明がありましたか

はい	0人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

13.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設のサービスなどの考え方を知る機会(説明、掲示など)がありましたか

はい	0人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

14.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設の説明を聞いて、自分で施設を利用することを決めましたか

はい	0人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

15.あなたは不満や要望を職員に気軽に話すことができますか

はい	19人	どちらともいえない	0人	いいえ	8人	無回答・非該当	5人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

16.職員は不満や要望に対してきちんと対応してくれていますか

はい	20人	どちらともいえない	0人	いいえ	6人	無回答・非該当	6人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

[このページの一番上へ](#)

## 事業者のコメント

\*以下の項目は事業者によって、自ら更新される情報です。

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成19年度評価結果

平成17年度評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

全体の評価講評

▼全体の評価講評 ▼コメント

平成18年度

知的障害者通所授産施設[経過措置]

<<前の評価結果を見る

次の評価結果を見る>>

事業所名称	希望園
評価機関名称	特定非営利活動法人 NPO人材開発機構
評価者	修了者No.H0402001 修了者No.H0403062 修了者No.H0402005 修了者No.H0405004
評価実施期間	2006年6月30日～2006年11月11日

全体の評価講評

💡特に良いと思う点

● 地域で共に暮らすために

経営層は、利用者が地域で暮らすことに強い思いを持って運営している。地域で生活を希望する利用者は入所施設に送らないことを原則としており、そのための、グループホームやアパートなど住まいの世話にまで及ぶ個別的な支援にも率先して携わっている。法人の理念とも言うべき「地域で共に暮らすために」の実現に向けて授産事業を充実させ利用者の工賃アップを図りたいとしている。

● 安心と継続した就労支援

地域で自立生活を行うため就業支援している。分場では店舗を開くことで利用者が地域の人々と接する機会を得ることで利用者は就労に対する意欲の形成、地域の人々には障害者に対する理解を深める役割を担っている。その成果、毎年数名の利用者が就労している。また就労し退所した利用者にも担当者が3ヶ月ごとに訪問し、利用者の話や悩みを聞くことで就労継続できるような取り組みがされている。本園でも施設外授産の事業として職員付き添いでクリーニング工場に行き職場環境の改善や障害者に対する理解を深める役割を担っている。

● 家庭の食生活への波及も見据えた豊かで美味しい食事

法人は基準外の栄養士を採用し、厨房で施設の調理師による食事を提供している。従来利用者に聞き取り形式で行っていた嗜好調査を家庭にアンケートを送ることにより利用者と家族が家庭で食について話をしながらアンケートに答えられるようにした。調査は食事内容と献立内容で項目ごとに分析している。また健康診断の結果を栄養士が見て、健康を維持するために給食に反映している。献立表の余白部分に栄養についてのコラムなどを載っており、家庭に配布し、食生活の改善に役立てられている。

✓さらなる改善が望まれる点

● 自立力の高い利用者へも個別支援計画の充実を

個別支援は施設においてとても重要なことだが、障害の程度の高い利用者には個別支援計画の見直しが必要である。「手がかからない、変化があまりない」と思われる自立度の高い利用者でも「全く変わらないということは有り得ない」と考えちょっとした変化も見逃さずシステムを活用したケース記録に残し、職員間の情報の共有化を図り個別支援計画に反映することが望まれる。

● 中長期計画への取組みの強化と人事制度の改善

当園においては、都補助事業の経営改革推進事業を活用し、経営理念・ビジョンの明確化と経営改革に取り組んでいる。障害者自立支援法の施行に伴い、細目が明らかになりつつある今日、障害者自立支援法の方向を視野に入れた中・長期計画の策定が望まれるところである。また、平成16年度より年功序列型給与からの脱却を目指して給与制度検討委員会を設置しているが、結論が得られていない。仕事と報酬など人事評価制度については、職員間でも不満が見られ、早期に結論を出すことが期待される。

● 支援マニュアル等の組織的な点検を

支援員の日々の支援についての標準化に向け「支援員、安全・業務マニュアル」がある。しかし、利用者・家族の要望の変化、高齢化、障害の重度化、利用者への就労支援などに適切に対応できるマニュアルの早急な点検・改善が期待される。新任職員や福祉分野以外の職種からの転職者や職員の人事異動などの状況に対応すべく、誰にでも分かり易く使いやすいマニュアルの組織的な見直しが期待される。

## コメント

事前に事業所と評価手法及び日程等に関し、詳細にわたり打ち合わせを行い、一連の日程を計画した。特に、本園と分場に別れた場所で活動している利用者の聴き取り調査に関しては、日中活動の中で行うため、授産作業及び諸活動の妨げや中断するという雰囲気を利用者に与えないよう、利用者の状況に応じて2日間を費やして行った。又家族会に説明とアンケートを依頼した。尚職員にも既定の分析シートの他に個別ヒヤリングを実施した。分析シート等は鍵付きボックスを設置して回収した。意思疎通を図る一環として評価者の顔写真入りポスターを掲示した。

[このページの一番上へ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団  
【問合せ】メールアドレス: [fukushiit@fukushizaidan.jp](mailto:fukushiit@fukushizaidan.jp) 電話: 03-5206-8733

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成19年度評価結果

平成17年度評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

## 組織マネジメント分析結果

- ▼リーダーシップと意思決定
- ▼経営における社会的責任
- ▼利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
- ▼計画の策定と着実な実行
- ▼職員と組織の能力向上
- ▼情報の保護・共有
- ▼カテゴリ1～7に関する活動成果

平成18年度

知的障害者通所授産施設[経過措置]

[<<前の評価結果を見る](#)

[次の評価結果を見る>>](#)

事業所名称	希望園
評価機関名称	特定非営利活動法人 NPO人材開発機構
事業評価実施期間	2006年6月30日～2006年11月11日

### リーダーシップと意思決定

1. 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	評点
1. 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している	A
2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	A
3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	A

【講評】 [詳細はこちら](#)

- 社会福祉法人けやきの社においては、「インクルージョンの理念を基本とし」、「本人家...
- 経営層は、利用者が地域で暮らすことにこだわりを持って運営している。地域で生活を希...
- 重要な案件については、法人傘下の施設の代表者からなる代表者会議を経て、理事会で決...

**評点の内容**  
▶ [詳細はこちら](#)

[このページの一番上へ](#)

### 経営における社会的責任

1. 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	評点
1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	A
2. 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている	A
3. 将来を担う人材育成として、実習生を受け入れている	B

2. 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	評点
1. 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある	A
2. ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	A
3. 地域との関係機関との連携を図っている	A

【講評】 [詳細はこちら](#)

- 当園の事業計画には、地域社会との連携を図るための一環として平成18年度の事業計画...
- ボランティアについては、当園では、作業の手伝いに3名、クラブ活動に2名、相談相手...
- 地域における障害の種別を越えた事業者連絡会に参加し連携をはかっている。地元自治体...

**評点の内容**  
▶ [詳細はこちら](#)

[このページの一番上へ](#)

### 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

1. 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している	評点
1. 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)	A
2. 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	A
3. 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	A

【講評】 [詳細はこちら](#)

- 苦情解決については、当園を運営する社会福祉法人けやきの社において、苦情解決システ...
- 当園は第三者評価を連続して受けており、そこで行われるアンケート調査結果を事業改善...
- 当園では地域との連携に重きをおいており、地元の自治会、地域の福祉をすすめる会、保...

評点の内容  
▶ [詳細はこちら](#)

[このページの一番上へ](#)

## 計画の策定と着実な実行

1. 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる	評点
1. 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している	B
2. 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	A
3. 着実な計画の実行に取り組んでいる	B
2. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	評点
1. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	A

【講評】 [詳細はこちら](#)

- 障害者自立支援法の制定は、当然のことながら、障害者施設の運営に大きな影響を及ぼし...
- 計画策定の手順については、主任が原案を作成し、職員会議を経て、施設長が集約し施設...
- 安全管理マニュアルは、送迎の手順、外出の際の注意事項、各種介助の方法や、119番...

評点の内容  
▶ [詳細はこちら](#)

[このページの一番上へ](#)

## 職員と組織の能力向上

1. 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	評点
1. 事業所にとって必要な人材構成にしている	B
2. 職員の質の向上に取り組んでいる	A
2. 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる	評点
1. 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	A
2. 職員のやる気向上に取り組んでいる	B

【講評】 [詳細はこちら](#)

- 年功序列型給与体系から職務職階給与体系への過渡期にあり、給与制度検討委員会を組...
- 職員の能力向上には、個々の職員の研修希望をとったり、大きな予算を掛けるなど力を入...
- 今回行った職員自己評価によると、「事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬が...

評点の内容  
▶ [詳細はこちら](#)

[このページの一番上へ](#)

## 情報の保護・共有

1. 情報の保護・共有に取り組んでいる	評点
1. 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	B
2. 個人情報は、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	A

【講評】 [詳細はこちら](#)

- 情報の共有化のため、当園においても、情報システムの利用が進んでおり、本園と分場と...
- 個人情報の保護については、契約書等にも記載し、取り組んでいる。情報開示についても...

評点の内容  
▶ [詳細はこちら](#)

[このページの一番上へ](#)

## カテゴリー1～7に関する活動成果

1. 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	評点
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A

【改善の成果】 [詳細はこちら](#)

- 希望園では、リーダーの意思が明確であり、さらに意図するところを情報誌等で発信して...

<b>2. 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している</b>	<b>評点</b>
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	<b>B</b>
【改善の成果】 <a href="#">詳細はこちら</a>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員の能力向上には、当園は相当力を入れている。しかし、当園の人事制度、とくに給与...</li> </ul>	
<b>3. 前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している</b>	<b>評点</b>
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	<b>A</b>
【改善の成果】 <a href="#">詳細はこちら</a>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物は築20年と年数が経過しているが、作業室の間仕切りや扉の設置、壁の塗り替え、...</li> </ul>	
<b>4. 前年度と比べ、事業所の財政面において向上している</b>	<b>評点</b>
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、財務諸表など財務に関する指標において改善傾向を示している	<b>A</b>
【改善の成果】 <a href="#">詳細はこちら</a>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当園では、授産事業の向上に努めており、成果も上がっている。とくに販売、サービス取...</li> </ul>	
<b>5. 前年度と比べ、利用者の意向や苦情対応の面で向上している</b>	<b>評点</b>
1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分や利用者満足状況調査などにおいて改善傾向を示している	<b>A</b>
【改善の成果】 <a href="#">詳細はこちら</a>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 法人では利用者の声をより身近に聞くために平成18年度に第三者委員の改選を行った。...</li> </ul>	
【講評】 <a href="#">詳細はこちら</a>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当園では、授産事業の向上に努めており、成果も上がっている。とくに販売、サービス取...</li> <li>● 建物は築20年と年数が経過しているが、作業室の間仕切りや扉の設置、壁の塗り替え、...</li> <li>● 職員の能力向上には、当園は相当力を入れている。しかし、当園の人事制度、とくに給与...</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>評点の内容</b>  ▶ <a href="#">詳細はこちらから</a> </div>

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成19年度評価結果

平成17年度評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

サービス分析結果

▼サービス提供のプロセス項目 ▼サービスの実施項目

平成18年度

知的障害者通所授産施設[経過措置]

<<前の評価結果を見る

次の評価結果を見る>>

事業所名称	希望園
評価機関名称	特定非営利活動法人 NPO人材開発機構
事業評価実施期間	2006年6月30日～2006年11月11日

サービス提供のプロセス項目

サービス情報の提供	評点
1. 利用者等に対してサービスの情報を提供している	A
<p>【講評】<a href="#">詳細はこちら</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報提供には「地域で共に暮らすために」と題した事業紹介紙がある。又利用者・家族に...</li> <li>利用者・家族向けには、毎月「全体通信」を発行している。すべてルビをふり分りやす...</li> <li>利用者・家族からの問い合わせは、窓口の担当も決めできる限り受け入れている。見学者...</li> </ul>	<p>評点の内容</p> <p>▶ 詳細はこちらから</p>
サービスの開始・終了時の対応	評点
1. サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている	A
2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	A+
<p>【講評】<a href="#">詳細はこちら</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見学时に施設の基本的なルールは説明するが、利用が決まると、利用者・家族に再度重要...</li> <li>サービス開始に向け、利用者の要望、将来の展望や希望工賃額の確認と、家族状況や病歴...</li> <li>ここ数年はサービス終了は、就労が決まり退所となる利用者のみである。毎年数名が退所...</li> </ul>	<p>評点の内容</p> <p>▶ 詳細はこちらから</p>
個別状況に応じた計画策定・記録	評点
1. 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している	A
2. 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している	A
3. 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している	A
4. 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している	A
<p>【講評】<a href="#">詳細はこちら</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援計画は、利用者の要望、将来の展望や希望工賃額、生活状況等聴取し、家族・関係機...</li> <li>個別支援計画は、原案を担当職員が作成し、支援員全員でのケース会議で検討をする。そ...</li> <li>当施設は本園と分場よりなり、職員も、シフトが組まれており、職員が一同に会する事は...</li> </ul>	<p>評点の内容</p> <p>▶ 詳細はこちらから</p>
プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	評点
1. 利用者のプライバシー保護を徹底している	A
2. サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	A
<p>【講評】<a href="#">詳細はこちら</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プライバシー保護については、就業規則や権利擁護規程に明記されている。職員が常に意...</li> <li>施設は利用者の「人格の尊重」を大切にし支援にあたっている。施設長は職員会議や日々...</li> <li>利用者本人の意志・意向を第1と考えており、施設内でトラブルがあった時は、本園では...</li> </ul>	<p>評点の内容</p> <p>▶ 詳細はこちらから</p>
事業所業務の標準化	評点
1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	A
2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	B
3. さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	A
<p>【講評】<a href="#">詳細はこちら</a></p>	

- 全ての職員が同じ支援レベルの対応を目指した、「支援職員、安全・業務マニュアル」が...
- 日ごろの支援の見直し等は、職員会議録や利用者の自治会で意見集約し、文書で整理され...
- 一定のサービス水準が確保出来る様に、法人内研修、外部研修に参加すると共に、参加し...

評点の内容  
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)

## サービスの実施項目

サービスの実施	評点
1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している	A
<p>【講評】<a href="#">詳細はこちら</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 個別支援計画は担当職員が原案を立てケース会議で合意を経て施設長の了解の後、利用者...</li> <li>● 利用者の特性に応じたコミュニケーションの取り方の工夫として、写真や文字で作業の手...</li> <li>● 自立生活に必要な情報は利用者で組織している自治会や自治会の役員の委員会で提供して...</li> </ul>	
2. 個別の支援計画に基づいて就労・日中活動等に関するさまざまな支援を行っている	A
<p>【講評】<a href="#">詳細はこちら</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 授産作業のメニューは本園では①書類袋作成、パンフレット組みなどの受注作業②分場な...</li> <li>● 工賃は法人で作成した工賃規定に基づいて支給している。内容は①作業として活動に参加...</li> <li>● 年に1回就労の決まった利用者のための壮行会を実施したり、就労した元利用者のOB会...</li> </ul>	
3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している	A+
<p>【講評】<a href="#">詳細はこちら</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 栄養士が中心となり、利用者・家族への嗜好調査を実施しデータを細かく分析してメニュー...</li> <li>● 特別食は、腎臓食・高血圧の人のためのメニュー・糖尿病予備軍の利用者のためのメニュー...</li> <li>● 介助が必要な利用者は4名いる。内訳としては食事をひっくり返してしまう利用者、摂食...</li> </ul>	
4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている	A
<p>【講評】<a href="#">詳細はこちら</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身の回りのことは自分でできるように本園では①ロッカーをきれいにする②昼休みのお茶...</li> <li>● 衛生面・安全面に配慮した支援を行うために、利用者意向に沿い、トイレの床が滑って転...</li> </ul>	
5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている	A
<p>【講評】<a href="#">詳細はこちら</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用者の健康を維持するために年に一度の総合健診、2ヶ月に一度の嘱託医の内科医によ...</li> <li>● 来所してきた際の顔色や利用者の様子を見て必要と思われる人にはその都度バイタルチェ...</li> <li>● 現在、服薬介助が必要な利用者は1名で薬は職員室の鍵のかかるロッカーに入れて保管し...</li> </ul>	
6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている	A
<p>【講評】<a href="#">詳細はこちら</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設では障害者自立支援法の施行に伴い、授産施設は仕事をする場、として位置づけてい...</li> <li>● 利用者による自治会は月に一度行われ支援職員が同席し利用者自身が自分の意見を言える...</li> <li>● 建物は築20年と年数が経過しているが、作業室の間仕切りや扉の設置、壁の塗り替え、...</li> </ul>	
7. 施設と家族等との交流・連携を図っている	A
<p>【講評】<a href="#">詳細はこちら</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 家族会は家族の希望により、平成18年度は施設長主催が4回施設職員主催が6回予定さ...</li> <li>● 日常の様子を伝える手段としては、必要に応じて連絡帳を活用したりその都度電話で連絡...</li> <li>● 家族との協調は法人の懸案事項でもある。一施設一法人から始まった事業を様々なニーズ...</li> </ul>	
8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている	A
<p>【講評】<a href="#">詳細はこちら</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 歓迎会、けやきフェスタへの行政・地域住民を招待したり、ニコニコボーリング大会(地...</li> <li>● 法人全体でも「地域」という視点は重視している。月1回の地域障害施設のネットワーク...</li> <li>● 地域の資源の情報提供として掲示板に地域のお祭りの掲示や別の事業所の情報を提供して...</li> </ul>	

評点の内容  
▶ 詳細はこちら

[このページの一番上へ](#)



評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成19年度評価結果

平成17年度評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

## 利用者調査結果

▼調査概要 ▼調査結果全体のコメント ▼調査結果

平成18年度

知的障害者通所授産施設[経過措置]

<<前の評価結果を見る

次の評価結果を見る>>

事業所名称	希望園
評価機関名称	特定非営利活動法人 NPO人材開発機構
利用者調査実施期間	2006年7月18日～2006年8月16日

### 調査概要

- **調査対象:** 希望園本園30名(平均年齢37歳)、希望園分場9名(平均年齢33歳)の利用者全員(全体の平均年齢36歳)を聴き取りを行うことを前提とした。本園は主に室内で授産活動、分場はクリーニング取次や企業内授産、豆腐販売等を行っているので、2日間の日程で行った。
- **調査方法:** 利用者自治会開催の日程に合わせて、当日の出席者全員に評価者の紹介も併せて説明会を持ち、質疑を交わし理解を得た。聴き取りは、相談室等個室で1対1で行った。ただ、利用者の心身の状況及び分場は、クリーニング取次や企業内授産等で外出活動が多いので柔軟に対応した。
- 利用者総数: 39人
- 共通評価項目による調査対象者数: 39人
- 共通評価項目による調査の有効回答者数: 32人
- 利用者総数に対する回答者割合(%): 82.1%
- 調査項目: [共通評価項目](#)

[このページの一番上へ](#)

### 調査結果全体のコメント

利用者の聴き取り結果からは、16項目の設問中、「施設の中は安全に動けるようになっていきますか」、「食事はおいしいですか」、「仕事や活動は楽しいですか」等7項目にわたり、有効回答数32名中「はい」が80%を越えており、中でも「施設に、あなたが来ることを喜んでくれる仲間がいますか」は、1名を除き、31名が皆仲良しで、希望園に来ることを楽しんでいることが回答に現われている。一方、「困ったことを外の人にも相談できますか」の設問では、第三者委員は知らない、或いは理解が困難と見受けられる方もあったが、大方は家族と職員と話をしている以外は感心が薄いように見受けられた。施設に対する総合的満足度は「どちらともいえない」と「無回答」の8名を除き、24名の方が満足としている。その他、家族に対するアンケートは有効回答数15名であった。食事や日常的な健康管理、又は施設内の採光等環境に関しては高い満足度となっている。一方で職員の人員確保や工賃に関しては計数的には高い満足度とはいえない。その他、今後利用を希望するサービスとして短期入所、移動支援事業が高い数値を示している。

[このページの一番上へ](#)

### 調査結果

#### 1.施設の中は安全に動けるようになっていきますか

はい	30人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

「危ないところはない、階段は手摺りもあり床も滑らないようになっている」、「トイレも掃除してあり床に水などない」、「仕事場も危ないところはありません」、「怪我をしたこともないし、怪我した人を見たことはありません」、「なかには物を投げたりする人がいるので危ないことがある」、その他に、分場でクリーニング取次等の店舗で活動している利用者の声として「洗濯物は沢山下がっているが、気をつければ大丈夫です」、「前にホチキスの針を刺したとき職員が絆創膏を貼ってくれた」など安心して活動している様子が伺える。

#### 2.食事はおいしいですか

はい	28人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

弁当持参の非該当1名を除き、「給食は全部おいしい、中華が多いとよい」、「食堂でつくる食事をしている、おいしい、今度から食事代を払うようになった」、「魚も肉もいつもおいしい、食堂の人は何でも良くしてくれる」、「とてもおいしい、特にご飯がおいしい」、「日によってちょうど良いときと、薄いときがある、施設はカロリーとかあるので仕方ない」、「嫌いなものがあるのでその日に入れないようにしてもらっている」、「食事のことを栄養士と話をしている」、「つくる人がちゃんと考えてつくっているから楽しい」と言った声が聞かれた。

3. 仕事や活動は楽しいですか

はい	30人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

「丁寧な仕事をしないといけない、一生懸命仕事をしている」、「仕事はおもしろい」、「同じ仕事をしている、別の仕事もしたい」、「水曜日に豆腐販売やポストイングをしている」、「牛乳パック、缶集めの仕事をしている、毎日楽しい」、「他の班の仕事もしてみたい」、「豆腐売りの仕事をしている」、「クリーニングの店で働いている、毎日楽しい」と言う声が聞かれるように、9割を超える方が、楽しく仕事等に取り組んでいることが伺える。

4. 職員はみんな同じようにあなたに対応してくれますか

はい	27人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	4人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

「職員は誰も同じように丁寧にしてくれる」、「皆同じです」、「うるさい人がいて、職員は注意するがなかなか直らない」と言うようなことで、コメントは少なかったが8割を超える方が「はい」と意志表示している。

5. 職員は、丁寧(乱暴な言葉を使ったり、命令したり、呼び捨てにしない)に接してくれますか

はい	27人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	2人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

「職員は皆優しい、いやな職員もいません」、「乱暴な職員はいません」、「親切です」、「ときに強く言うことがある」、「さん付けで呼んでくれる」、「職員によってバラツキがある」、「職員にはいないが、利用者にいるので職員に注意してもらっています」、「呼び捨てやこわい言葉遣いの人はいない」、「みなやさしい」と言った声が聞かれた。

6. あなたの気持ちをわかってくれる(相談できる)職員がいますか

はい	24人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	6人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

「何でも相談できる職員がいる」、「職員とよく話をしている」、「よく相談している」、「今は相談できる人はいない」、「あまり相談することはない」、「忙しいのか、後回しになることがある」などの声の中で、多くの方が「相談や話をしている」とのコメントであったが、「利用者の気持ちをわかって」と言うような具体性にかける事柄に関しては、意志表示をしない方もあり理解は困難のように感じられた。

7. あなたが困ったとき、施設の職員は助けてくれますか

はい	26人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	6人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

「困ったことは何でも職員と相談している」、「職員によってまちまちです」、「助けてくれる」、「ちょっと待ってと言われる時もあるが必ず助けてくれる」、「分からないことは教えてくれる」、「皆同じように助けてくれる」、「仕事のことで分からないことは教えてくれる」と言ったような声が聞かれたが、「困った時」を言い換えをするしても具体性にかけることに意志表示しない方もみられた。

8. 困ったことを外の人(第三者委員など)にも相談できますか

はい	10人	どちらともいえない	0人	いいえ	13人	無回答・非該当	9人
----	-----	-----------	----	-----	-----	---------	----

【コメント】

「困ったことは施設の職員だけでなく家族や友達に相談できる」、「家族といつも話をしている」、「お母さんに相談している」、「家族と職員さんの他にはいません」とのコメントや、法人傘下の施設の職員の交流があるため、「他の施設の職員にも相談できる」と言ったような声が聞かれた。その他に、第三者委員など外の人に関し、利用者に応じて例示や言い回しを工夫するも、第三者委員を知らないと言った声や、或いは理解が困難のようにも見受けられた。

9. 工賃・給料の支払いのしくみは、わかりやすく説明されていますか

はい	18人	どちらともいえない	0人	いいえ	7人	無回答・非該当	7人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

「給料はもらっているが仕組みは分からない」、「よく説明してくれる」、「よく分からない」、「工賃の説明書は職員には分かるかもしれないが、自分には分からない」、「説明は聞いたことがあるが、理解するのは難しい」、「説明するので分かる」、「その都度忘れてしまう、通ってくるだけでもお金がかかるので給料を増やしてほしい」、「負担が増えて手取りが減るので仕事を頑張ろうと思う」、「出かけたなり、買い物に行ったりする」と言ったように、「仕組み」に関する理解は困難か、感心が薄いように見受けられる。

10. 施設に、あなたが来る事を喜んでくれる仲間がいますか

はい	31人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

「皆仲良しです」、「仲良しです、意地悪をする人は誰もいません」、「皆と仲良しです」、「遠くからここに長年きているが楽しい」、「好きな野球チームの話をする人がいる」、「いい人がいろいろと話しをしている」と言うように、満足度が高く、利用者同士助け合いながら仲良く活動している様子が伺える。

11. あなたの目標・計画について、いっしょに考えわかりやすく説明してくれましたか

はい	24人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	6人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

「仕事をたくさんして給料をもらって家族を旅行に行かせてあげたいということが第1の目標です」、「いろいろ学習したいと思っています、職員と一緒に考えてくれる」、「ここで仕事をしていくことが目標です」、「職員と話します」、「今年は特に目標は決めていないけれど、時々面接をしたりしている」、「仕事をがんばろうと決めた」と言う声が聞かれた。

12.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】利用する前に、施設での生活や支援内容など、知りたいことについてわかりやすい説明がありましたか

はい	0人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

13.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設のサービスなどの考え方を知る機会(説明、掲示など)がありましたか

はい	0人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

14.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設の説明を聞いて、自分で施設を利用することを決めましたか

はい	0人	どちらともいえない	0人	いいえ	0人	無回答・非該当	0人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

15.あなたは不満や要望を職員に気軽に話すことができますか

はい	19人	どちらともいえない	0人	いいえ	8人	無回答・非該当	5人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

「常に話をしている」、「気軽に話ができる」、「困ったことはないがいろいろと我慢をしてしまう」、「自分で考える」、「話をあまり聞いてくれない」、「どちらかというと遠慮してしまう」、「特に不満や要望は浮かばない」、「今のところ満足しているから話はしていない」との声が聞かれたが、感心を示さない方もみられた。

16.職員は不満や要望に対してきちんと対応してくれていますか

はい	20人	どちらともいえない	0人	いいえ	6人	無回答・非該当	6人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

「きちんと対応してくれる」、「何でもきちんと分かるように話をしてくれる」、「言えばやってくれると思う」、「話をしてもその場で終わってしまい、変わらないし直らない」、「言えばやってくれるかもしれない」と言ったような声が聞かれた。その他、意志表示をしない方もみられた。

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成19年度評価結果

平成17年度評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

リーダーシップと意思決定

講評

社会福祉法人けやきの社においては、「インクルージョンの理念を基本とし」、「本人家族の当事者性にこだわる」、「自己決定に基づく本人主体を尊重する」等を基本理念として掲げてきたが、この基本理念は、理事会における正式な手続きで定められたものではなかったことから、経営改革策定委員会のなかに経営理念検討会を設けて経営理念・ビジョンの明確化と経営目標の設定を行うこととしている。従来掲げてきた理念もユニークなものであったが、これまでも重視してきた「地域で共に暮らす」を基本に、理念の構築を進めている。

経営層は、利用者が地域で暮らすことにこだわりを持って運営している。地域で生活を希望する利用者は入所施設に送らないことを原則としており、そのための、グループホームやアパートなど住まいの世話にまで及ぶ個別的な支援にも率先して携わっている。法人の理念とも言うべき「地域で共に暮らすために」の実現に向けて授産事業を充実させ利用者の工賃アップを図りたいとしている。

重要な案件については、法人傘下の施設の代表者からなる代表者会議を経て、理事会で決定する手順が定められている。代表者会議へは現場意向が反映できるよう、重要案件の職場での検討を迅速に行えるよう努めている。しかし交替制勤務の状況から意思疎通が十分でないのも現状である。一方今年度より本園と分場との間に新たに結ばれたLANシステムを活用することにより、意思疎通が良好になってきている。

[このページの一番上へ](#)

1-1-1. 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している

評点	A
標準項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している</li> <li>○ 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている</li> <li>○ 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている</li> <li>○ 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)</li> </ul>
A+の取り組み	

1-1-2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

評点	A
標準項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている</li> <li>○ 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している</li> </ul>
A+の取り組み	

1-1-3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点	A
標準項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている</li> <li>○ 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している</li> <li>○ 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている</li> </ul>
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評価の見方

他年度の評価結果

平成19年度評価結果

平成17年度評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

経営における社会的責任

講評

当園の事業計画には、地域社会との連携を図るための一環として平成18年度の事業計画で、施設設備の貸し出しを定めており、テントや氷かき機などを地域の行事の際に貸し出しをしている。講師派遣も積極的に行っている。施設長は、障害者団体の役員を務めており、こうした分野での講演を依頼されることもある。また、就労等について、地域から寄せられる相談にも応じており、地域との連携を重視した運営を行っている。

ボランティアについては、当園では、作業の手伝いに3名、クラブ活動に2名、相談相手に3名、定期的に来所するボランティアを受け入れている。担当者を設けておりボランティア関係の手引書も作られているが、形骸化している部分もある。しかし、新たにボランティアを受け入れる場合には事前の説明会を行う等して、プライバシーの保護等重要な事項については、理解が行き届くようにしている。

地域における障害の種別を越えた事業者連絡会に参加し連携をはかっている。地元自治体には、障害者のための授産施設、共同作業所等が比較的数多く存在するが、これらの施設が共同して受注作業を開発拡大する目的で結成された地域の障害施設ネットワークに中核的構成員として参画している。こうしたことを通して地域との連携を進めているが、行政に対しては、単に行政からの指示を受ける受身の態度ではなく、能動的に各種提言、計画の提案を、施設側から発信して行くように積極的に行っている。

[このページの一番上へ](#)

2-1-1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している

評点	A
標準項目	<input type="radio"/> 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している <input type="radio"/> 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる
A+の取り組み	

2-1-2. 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている

評点	A
標準項目	<input type="radio"/> 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる <input type="radio"/> 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している
A+の取り組み	

2-1-3. 将来を担う人材育成として、実習生を受け入れている

評点	B
標準項目	<input type="radio"/> 実習生の受け入れに対する基本方針・取り組み体制を明確にしている <input checked="" type="radio"/> 効果的な実習ができるよう計画的なプログラムを用意している
A+の取り組み	

2-2-1. 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある

評点	A
標準項目	<input type="radio"/> 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など) <input type="radio"/> 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている
A+の取り組み	

2-2-2. ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点	A
A+の取り組み	

標準項目	<input type="radio"/>	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している
	<input type="radio"/>	ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)
	<input type="radio"/>	ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている
A+の取り組み		

### 2-2-3. 地域の関係機関との連携を図っている

評点	A	
標準項目	<input type="radio"/>	地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している
	<input type="radio"/>	地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成19年度評価結果

平成17年度評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

講評

苦情解決については、当園を運営する社会福祉法人けやきの杜において、苦情解決システム規程を設け、さらに苦情解決委員会設置運営規程、苦情解決実施規程を設けて、苦情解決責任者、苦情解決委員、苦情解決担当者において、苦情解決に努めている。第三者委員が苦情を受け、解決する体制をとっている。平成18年度に第三者委員の改選があったので、10月の家族会に出席のうえ説明してもらう予定であり当施設にとって苦情解決のための有効な仕組みとなっている。

当園は第三者評価を連続して受けており、そで行われるアンケート調査結果を事業改善の参考資料としている。しかし、施設独自のアンケートは嗜好調査以外行っていない。本施設は、親の会の熱心な活動から開設されたものであり、家族の中には自分達が作った施設との思いがあり、施設側との考え方に違いを見られることがある。こうしたことから、利用者・家族の意向の把握を的確に行うことは重要であり、さらなる取組みが望まれる。

当園では地域との連携に重きをおいており、地元の自治会、地域の福祉をすすめる会、保護司会の懇談会にも積極的に参加し、情報を収集している。行政の主催する会合、研修会にも必ず参加し、情報を収集するばかりでなく、積極的な発信を行い、地域の福祉に貢献している。研修に参加したあとは内部研修を開き状況を把握、分析し計画に反映するように努めている。

[このページの一番上へ](#)

3-1-1. 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点	A
標準項目	○ 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている
	○ 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる
A+の取組み	

3-1-2. 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点	A
標準項目	○ 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる
	○ 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している
	○ 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる
A+の取組み	

3-1-3. 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点	A
標準項目	○ 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる
	○ 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる
	○ 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している
A+の取組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成19年度評価結果

平成17年度評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

計画の策定と着実な実行

講評

障害者自立支援法の制定は、当然のことながら、障害者施設の運営に大きな影響を及ぼしている。これに対応する中・長期計画については、プロジェクトチームを設置したが機能していない。年度計画は、方針、利用者援助、地域社会との連携、経営改革推進事業の実施の項目に分類して作成されている。とくに授産作業項目については詳細に計画されている。収支計画も作成されているが、障害者自立支援法の実施により相当の減収が見込まれるが、当面の運営に支障が生ずることがないように努力している。

計画策定の手順については、主任が原案を作成し、職員会議を経て、施設長が集約し施設の計画案として、各事業所代表の集まりである代表者会議に諮り、理事会で決定される。現場の意向が反映されるような手順となっている。また、当施設では、利用者、家族意向を踏まえて、施設・設備の改善計画を着実に実行しており、利用者の作業が円滑に進むよう間仕切りを設けるなど取り組んでいる。しかし、計画推進にあたっては工程表がなく進行確認ができていない。

安全管理マニュアルは、送迎の手順、外出の際の注意事項、各種介助の方法や、119番への通報の要領等が実践的に記載されている。また、過去の事故例を調査した結果、利用者が走って事故を起こす例が多いことが分かり、走らないよう気をつけることによって、ここ2年ほどはこの種の事故が起こっていないという成果に結びついている。

[このページの一番上へ](#)

4-1-1. 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

評点	B
標準項目	✕ 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している
	○ 年度単位の計画を策定している
	○ 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる
A+の取り組み	

4-1-2. 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

評点	A
標準項目	○ 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている
	○ 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている
	○ 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している
	○ 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している
A+の取り組み	

4-1-3. 着実な計画の実行に取り組んでいる

評点	B
標準項目	○ 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している
	○ 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしているなどの取り組みを行っている
	✕ 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している
	○ 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる
A+の取り組み	

4-2-1. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点	A
	○ 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している

標準項目	○	発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している
	○	再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団  
【問合せ】メールアドレス：[fukushit@fukushizaidan.jp](mailto:fukushit@fukushizaidan.jp) 電話：03-5206-8733

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成19年度評価結果

平成17年度評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

職員と組織の能力向上

講評

年功序列型給与体系から職務職階給与体系への過渡期にあり、給与制度検討委員会を組んで検討に取り組んでいるが、結論はでていない。障害者自立支援法や指定管理者制度の導入を考慮すればできるだけ早期の新たな人事制度への移行が望ましいと考えられ、プロジェクトの速やかな成果に期待したい。また新たな人事制度に即した必要とする人材像を明確することが望まれる。

職員の能力向上には、個々の職員の研修希望をとったり、大きな予算を掛けるなど力を入れて取り組んできている。しかし、施設の目指す職員育成の方針と個々の職員の研修希望が必ずしもすり合わせができていない。研修結果についての報告を常時実施しており、研修結果の共有化を行っている。

今回行った職員自己評価によると、「事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬が連動した人材マネジメントを行っている」の項目では、否定的な回答が多かった。また個別に行った職員聞き取り調査においては、職務に熱心で、仕事に満足し、能力向上に努める職員像が浮かび上がってきた。しかし、年度当初の施設長との個別面接が実施されなかったこともあり、上司とのコミュニケーションを望む声もみられた。

[このページの一番上へ](#)

5-1-1. 事業所にとって必要な人材構成にしている

評点	B
標準項目	○ 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している
	× 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている
	○ 適材適所の人員配置に取り組んでいる
A+の取り組み	

5-1-2. 職員の質の向上に取り組んでいる

評点	A
標準項目	○ 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している
	○ 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している
	○ 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている
	○ 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している
	○ 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している
A+の取り組み	

5-2-1. 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点	A
標準項目	○ 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している
	○ 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる
	○ 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる
A+の取り組み	

5-2-2. 職員のやる気向上に取り組んでいる

評点	B
標準項目	× 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている
	○ 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる
	○ 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる
	○ 福利厚生制度の充実に取り組んでいる



評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成19年度評価結果

平成17年度評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

情報の保護・共有

講評

情報の共有化のため、当園においても、情報システムの利用が進んでおり、本園と分場との間にLANが導入されて役立っている事例が見られるが、情報システムにおけるアクセス権限については、これからの課題となっている。紙ベースでの情報の整理・保管(取り出しの制限等を含む。)は行われている。

個人情報の保護については、契約書等にも記載し、取り組んでいる。情報開示についても同様対処している。個人情報の保護のための規程の明示については、必ずしも十分ではない。

[このページの一番上へ](#)

7-1-1. 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

評点	B	
標準項目	×	情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している
	○	収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している
	○	保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している
A+の取り組み		

7-1-2. 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している

評点	A	
標準項目	○	事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している
	○	個人情報の保護に関する規定を明示している
	○	開示請求に対する対応方法を明示している
	○	個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成19年度評価結果

平成17年度評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

カテゴリ1～7に関する活動成果

講評

当園では、授産事業の向上に努めており、成果も上がっている。とくに販売、サービス取次ぎを行う分場では、成果が拡大しており、財務上でも経費負担に貢献している。本年度においては、分場の利益見込みを昨年度の4,725千円から15%増の5,450千円とする計画を立てている。本園においても、利益目標を36%増の3,482千円としている。

建物は築20年と年数が経過しているが、作業室の間仕切りや扉の設置、壁の塗り替え、2階テラスの人工芝を敷くなど室内外とも整備されている。食後の口腔ケアのセットなどは洗面台の壁に個別に整理され利用者が使い易いように配慮されている。またトイレの照明が以前は入り口のスイッチを切ると全部消えてしまっていたのを個室は感應式に変えたことで安心して個室トイレが使用できるようになった。休憩室も独立して設置され給茶器も設置されゆっくり休める環境ができています。

職員の能力向上には、当園は相当力を入れている。しかし、当園の人事制度、とくに給与制度において、年功序列型からの脱却を目指しながら、未だその成果を得ていない。年功序列型給与体系から職務職階給与体系への過渡期にあり、給与制度検討委員会を組んで検討に取り組んでいるが、結論はでていない。障害者自立支援法や指定管理者制度の導入を考慮すればできるだけ早期の新たな人事制度への移行が望ましいと考えられ、プロジェクトの速やかな成果に期待したい。

[このページの一番上へ](#)

8-1-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリ2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリ4:「計画の策定と着実な実行」

評点	A
改善の成果	希望園では、リーダーの意思が明確であり、さらに意図するところを情報誌等で発信しており、職員もよく理解している。そうした意図に基づき、計画を着実に実行している。利用者の作業環境の整備にしても、大規模でなくとも、仕切り壁の設置、扉、壁面の塗装等必要とされることを段階的に着実に実行している姿勢が伺われる。授産事業についても、分場における商品販売の種類の拡大、営業時間の工夫等計画が活かされている。障害者自立支援法の影響が実際にどのように出るか、大分固まってきたとはいえ、未だ現場では、はっきりと見えきっていない様子もある。当園としては、障害者自立支援法の推移、その先にあるものを見据えて中長期計画を策定すべきであろうが、この法律がまだまだ流動的な要素があると考えざるを得ず、当園に中長期計画が未策定の状況にあるのも止むを得ないところであろう。

[このページの一番上へ](#)

8-2-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ5:「職員と組織の能力向上」

評点	B
改善の成果	職員の能力向上には、当園は相当力を入れている。しかし、当園の人事制度、とくに給与制度において、年功序列型からの脱却を目指しながら、未だその成果を得ていない。年功序列型給与体系から職務職階給与体系への過渡期にあり、給与制度検討委員会を設けて検討に取り組んでいるが、結論はでていない。障害者自立支援法や指定管理者制度の導入を考慮すればできるだけ早期の新たな人事制度への移行が望ましいと考えられ、プロジェクトの速やかな成果に期待したい。職員の能力向上と関連する研修計画、実施については当園は従来から努力しているが、職員の成長とともにさらに高いレベルの支援技術等を目指す考え方があり、その観点からはまだまだ不十分との自己評価となっている。

[このページの一番上へ](#)

8-3-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリ7:「情報の保護・共有」

評点	A
----	---

改善の成果	建物は築20年と年数が経過しているが、作業室の間仕切りや扉の設置、壁の塗り替え、2階テラスの人工芝を敷くなど室内外とも整備されている。食後の口腔ケアのセットなどは洗面台の壁に個別に整理され利用者が使い易いように配慮されている。またトイレの照明が以前は入り口のスイッチを切ると全部消えてしまっていたのを個室は感應式に変えたことで安心して個室トイレが使用できるようになった。休憩室も独立して設置され給茶器も設置されゆっくり休める環境ができています。
-------	--

[このページの一番上へ](#)

#### 8-4-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、財務諸表など財務に関する指標において改善傾向を示している

評点	A
改善の成果	当園では、授産事業の向上に努めており、成果も上がっている。とくに販売、サービス取次ぎを行う分場では、成果が拡大しており、財務上でも経費負担に貢献している。本年度においては、分場の利益見込みを昨年度の4,725千円から15%増の5,450千円とする計画を立てている。本園においても、利益目標を36%増の3,482千円としている。障害者自立支援法の施行にともない、少なくとも当面支援費収入の減額は避けられない状況にあるが、従来からの蓄積もあり、当園では、運営への影響は少ないと見ている。

[このページの一番上へ](#)

#### 8-5-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分や利用者満足状況調査などにおいて改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境の把握と活用」

評点	A
改善の成果	法人では利用者の声をより身近に聞くために平成18年度に第三者委員の改選を行った。平成18年10月の家族会に改選後の第三者委員に出席してもらい、直接家族に制度を説明してもらうことを予定している。また利用者にも第三者委員を気軽に利用してもらうため、玄関ホールに「あなたの声をうかがいます」と掲示している。当施設にとって苦情解決のための有効な仕組みとなっている。

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

他年度の評価結果

[平成19年度評価結果](#)

[平成17年度評価結果](#)

[平成16年度評価結果](#)

福祉サービス第三者評価情報

サービス情報の提供

講評

情報提供には「地域で共に暮らすために」と題した事業紹介紙がある。又利用者・家族に留まらず地域に法人運営を知ってもらう為広報誌「けやきの杜」を隔月発行し、利用者・家族、地域、関係機関へ配布している。内容は行事や近況の他利用者や家族が特派員として参加し他施設を紹介したり、施設長が地域で共に暮らす為の実践の理解に向けてのアピールする等多岐に及んでいる。この広報誌「けやきの杜」は、利用者が帳合や関係機関への封入を行い、法人内他施設利用者が地域への臨戸配布を行うなど、地域の理解協力を得る良い機会となっている。

利用者・家族向けには、毎月「全体通信」を発行している。すべてルビをふり分かりやすい表現とし、行事予定や仕事の状況等確認できるようになっている。また、利用者特性に配慮し、手話や指文字による情報伝達や意思確認の他、毎月開催される、自治会の場でも時々情報を写真入りのプロジェクターを利用し、視覚に訴えるなど誰にも分かるように工夫されている。日々の仕事の割り振りもマグネットや顔の写真を使うなど特性に配慮し理解しやすい工夫がなされている。

利用者・家族からの問い合わせは、窓口の担当も決めできる限り受け入れている。見学者は養護学校卒業予定者や家族、親の会、他県より研修のかたわら訪れたり等多岐にわたっている。利用予定者にはパンフレットを参考にして施設利用時の基本的ルールを含め丁寧に説明をしている。飛び込みでの見学が多いのは就業を経験した元利用者であり、受け入れ状況等説明し万が一の際の通所先として安心感を与えている。

[このページの一番上へ](#)

1-1. 利用者等に対してサービスの情報を提供している

評点	A
標準項目	○ 利用者が入手できる媒体で、利用者に事業所の情報を提供している
	○ 利用者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	○ 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	○ 利用者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

他年度の評価結果

[平成19年度評価結果](#)

[平成17年度評価結果](#)

[平成16年度評価結果](#)

福祉サービス第三者評価情報

サービスの開始・終了時の対応

講評

見学時に施設の基本的なルールは説明するが、利用が決まると、利用者・家族に再度重要事項説明書に基づき説明をする。その際必ず利用者・家族の信頼出来る第三者の立会いを求め、契約をしている。利用者については、「契約の説明書」を別立てで作成し説明をしている。大きな字でルビを振り、易しい表現の説明書である。内容は「契約とは」、「サービス内容について」、「お金が必要です」等施設内で起こりうる全ての事柄に及んでいる。最終的に合意を得たら契約書に利用者・家族の書名をお願いしている。

サービス開始に向け、利用者の要望、将来の展望や希望工賃額の確認と、家族状況や病歴や友人関係や1日の生活の流れ等生活基本情報として纏めて、フェイスシートを作成している。利用当初は、職員間の情報の共有はもとより、家族とも協力を図り、支援員1対1対応とする等、家族を含め個別面談をしながら利用後の家での様子や施設での様子を情報交換をしながら不安やストレスの無い支援に取り組んでいる。

ここ数年はサービス終了は、就労が決まり退所となる利用者のみである。毎年数名が退所をして行く。退所後も担当職員が就労先を2～3ヶ月に1度は定期的に訪問し、就労先との調整や就労者の相談にのり、定着支援に当たっている。就労者に施設は何時でも受け皿となる事を伝え全面的にバックアップし、実行している。又就労した人による集まりOB会(現在7～8名)も組織し、施設外授産者も一緒に交流し、様々な企画を楽しんでいる。このように就業者が安心して仕事に励めるようなアフターフォローを行っている。

[このページの一番上へ](#)

2-1. サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている

評点	A
標準項目	○ サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を利用者の状況に応じて説明している
	○ サービス内容や利用者負担金等について、利用者の同意を得るようにしている
	○ サービスに関する説明の際に、利用者や家族等の意向を確認し、記録化している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

2-2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点	A+
標準項目	○ サービス開始時に、利用者の支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
	○ 利用開始直後には、利用者の不安やストレスを軽減するよう配慮している
	○ サービス利用前の生活をふまえた支援をしている
	○ サービスの終了時には、利用者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている
A+の取り組み	・当施設は地域で生活を希望する利用者は入所施設に送らないことをモットーとした支援を行っており、退所は就労開始者のみである。毎年数名の就労が決まり退所をしていく。退所後職員が就労先を2～3ヶ月に1度は定期的に訪問し、就労先との調整や就労者の相談にのり、定着支援に当たっている。又就労した人による集まりOB会(現在7～8名)も組織し、施設外授産者も一緒に交流し様々な企画を楽しんでいる。このように就業者が安心して仕事に励めるようなアフターフォローを行っている。

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成19年度評価結果

平成17年度評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

個別状況に応じた計画策定・記録

講評

支援計画は、利用者の要望、将来の展望や希望工賃額、生活状況等聴取し、家族・関係機関の意見も参考に作成したフェイスシートを基にアセスメントを行う。内容は、摂食・排泄等の日常生活領域とこだわり・パニック等の社会領域、作業への動機付けや理解等の作業領域と日常生活の悩み・実習就労等の社会生活支援領域について分析をする。次に具体的な各領域の支援目標を立て、その中から今年度の重点目標を絞り込み更に短期、中期、長期目標を立てる。目標は必要の都度見直しをするが変化のない利用者については、年1度見直しをしている。

個別支援計画は、原案を担当職員が作成し、支援員全員でのケース会議で検討をする。その後施設長の確認のもと、利用者・家族に提示し了解を得て計画書となる。支援計画書は作業現場の書棚に保管され、必要に応じて支援員が確認している。日々の支援経過(ケース記録)はパソコンに支援員がその都度入力し、LANシステムにより支援員は誰でも随時状況の確認・共有が出来るようになっている。施設長は毎朝1番に前日の記録をチェックし必要な助言を書き込み(掲示板)又直接支援員に助言指導をする等計画に沿った支援に努めている。

当施設は本園と分場よりなり、職員も、シフトが組まれており、職員が一同に会する事は難しい。その為月1回土曜日全員参加の職員会議を開催し、利用者情報等の共有化に努め、さらに支援員全員によるケース会議により、利用者支援の変化の共有や統一を図っている。又日々の緊急の利用者情報の共有は、直接その場で施設長・副施設長よりなされ、更に文書による回覧で周知をしている。尚LANシステムにより、何時でも誰でも利用者状況の入力がなされ、支援員の気づきも多くなったが、入力内容の統一や漏れのない入力の検討がなされている。

[このページの一番上へ](#)

3-1. 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点	A
標準項目	○ 利用者の心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している
	○ 利用者一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
	○ アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3-2. 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している

評点	A
標準項目	○ 計画は、利用者の希望を尊重して作成、見直しをしている
	○ 計画を利用者にわかりやすく説明し、同意を得ている
	○ 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めつつ、必要に応じて見直ししている
	○ 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3-3. 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点	A
標準項目	○ 利用者一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしきみがある
	○ 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果利用者の状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

### 3-4. 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点	A
標準項目	○ 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している
	○ 申し送り・引継ぎ等により、利用者に変化があった場合の情報を職員間で共有化している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団  
【問合せ】メールアドレス: [fukushiit@fukushizaidan.jp](mailto:fukushiit@fukushizaidan.jp) 電話: 03-5206-8733

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成19年度評価結果

平成17年度評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

講評

プライバシー保護については、就業規則や権利擁護規程に明記されている。職員が常に意識を持ち続けることが重要と考え、定期的に研修や職員会議で話題とし、周知徹底の努力をしている。日常の支援の場でも、羞恥心やプライバシーに配慮し、男女別の更衣室を曇りガラスにし、カーテンを2重にしたり、又トイレも入り口にカーテンをし更に先にドアを、ドアの中に更にカーテンを設置する等の配慮をしている。排泄介助等も同性介助で他の利用者に配慮し、さりげなく声かけし、誘導、見守り、介助している。

施設は利用者の「人格の尊重」を大切にし支援にあっている。施設長は職員会議や日々の支援の場で直接指導をしたり、新聞や他施設の出来事の記事などを掲示したりして、他人ごとにせず、身を引き締めるきっかけ作りを常にしている。又本人「主体性の尊重」も重要と考えており、日々支援の場で穏やかな対応に心がけ、口調に気をつけ利用者の意見の言い易い雰囲気作りをしている。虐待被害等は当施設で例はないが、月1度の健診時注意深く見守ったり、何より利用者の日々の顔色や状態の変化を気づく努力をしている。

利用者本人の意志・意向を第1と考えており、施設内でトラブルがあった時は、本園では本人の気持ちの確認により家族との連絡をとり、本人の意向を尊重した対応をしている。一方、分場では利用者から家族への伝言を主体としている。日々利用者意向・意志確認により支援に当たっているが、一方、苦情解決システム規定も整備している。「みなさんの声をうかがいます」とのポスターが利用者が理解し易く、利用出来るように、廊下にカラー刷りで大きな字でルビふりで掲示されている。職員以外にも意志を伝え相談出来ことを説明している。

[このページの一番上へ](#)

5-1. 利用者のプライバシー保護を徹底している

評点	A
標準項目	○ 利用者について他機関へ照会する際、利用者の承諾を得るようにしている
	○ 日常の支援の中で、利用者のプライバシーに配慮している
	○ 利用者の羞恥心に配慮した支援を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

5-2. サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している

評点	A
標準項目	○ 日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している(利用者が「ノー」と言える機会を設けている)
	○ 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している
	○ 虐待被害にあった利用者がある場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている
	○ 利用者一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成19年度評価結果

平成17年度評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

事業所業務の標準化

講評

全ての職員が同じ支援レベルの対応を目指した、「支援職員、安全・業務マニュアル」がある。作業室に置かれ支援員が困った時に利用出来るようになっている。又「支援職員日常生活に関わる知識集」として知的障害者理解へのガイドブック的な入門書も用意され、必要に応じて活用されている。更に初心者や福祉専門分野でない人にも利用できるよう、作業や日常支援など誰にも理解・活用しやすいマニュアルづくりを考えている。

日ごろの支援の見直し等は、職員会議録や利用者の自治会で意見集約し、文書で整理されている。しかし、日々の支援に追われ、確認や見直しの必要は認識し、その都度対応しているが、組織的な改善には至っていない。利用者・家族の要望の変化、高齢化等の影響もあり、マニュアルが日々の支援に適合しない事例等もみられ、早急な点検・改善が期待される。

一定のサービス水準が確保出来る様に、法人内研修、外部研修に参加すると共に、参加した職員が職員会議等で報告会を必ず行い、全員職員の共有化を図っている。又施設長は支援にバラツキがないように、安全確認にも注意を払い、全員参加の職員会議やケース会議の場とパソコン上で助言・指導を行なっている。又日々の支援の場では、直接先輩支援員が助言・指導を行っている。

[このページの一番上へ](#)

6-1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点	A
標準項目	<input type="radio"/> 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている
	<input type="radio"/> 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている
	<input type="radio"/> 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している
	<input type="radio"/> 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

6-2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点	B
標準項目	<input checked="" type="radio"/> 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている
	<input type="radio"/> 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案を反映するようにしている
	<input checked="" type="radio"/> 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

6-3. さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点	A
標準項目	<input type="radio"/> 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている
	<input type="radio"/> 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している
	<input type="radio"/> 職員全員が、利用者の安全性に配慮した支援ができるようにしている
	<input type="radio"/> 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している
	<input type="radio"/> 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている
A+の取り組み	

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団  
【問合せ】メールアドレス:[fukushiit@fukushizaidan.jp](mailto:fukushiit@fukushizaidan.jp) 電話:03-5206-8733

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

他年度の評価結果

平成19年度評価結果

平成17年度評価結果

平成16年度評価結果

福祉サービス第三者評価情報

サービスの実施

1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している

講評

個別支援計画は担当職員が原案を立てケース会議で合意を経て施設長の了解の後、利用者本人、家族に見せて合意を得ている。見直しはケース会議を経て必要とあらばその都度、通常は年に一度行っているが、変化の少ないと同じような支援計画になりがちな利用者もいるのが現状である。今後は、大きな変化がない人ほどLANシステムによる日ごとの記録の充実と活用や利用者本人・家族の要望を積極的に吸い上げ支援計画に反映することも必要ではないかと思われる。

利用者の特性に応じたコミュニケーションの取り方の工夫として、写真や文字で作業の手順を表したり現物を示すことで作業がわかり易くなるよう工夫がされている。また言葉が不自由な利用者には手話や指文字で対応している。なかでも指文字は支援に関わる職員すべてが会得しており言葉が不自由な利用者ともコミュニケーションができるよう施設全体で努力がされている。自閉症など利用者特性に応じて、文字盤を使用したりして自己管理できるよう工夫がされている。

自立生活に必要な情報は利用者で組織している自治会や自治会の役員の委員会で提供している。また自治会の際にはプロジェクトを活用し利用者にわかり易く伝える工夫がされている。分場では自治会主催の懇親会を利用者が企画し、就労した元利用者の仕事の様子をビデオに撮って上映したり、就労している人が直接仕事の内容を説明したりして自立した生活が具体的に伝わる場を設けている。

評点	A
標準項目	○ 個別の支援計画に基づいて支援を行っている
	○ 利用者の特性に応じて、コミュニケーションのとり方を工夫している
	○ 自立生活に必要なさまざまな情報を提供している
	○ 必要に応じて対人関係のアドバイス等を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

2. 個別の支援計画に基づいて就労・日中活動等に関するさまざまな支援を行っている

講評

授産作業のメニューは本園では①書類袋作成、パンフレット組みなどの受注作業②分場などへの給食配達、広報誌発送代行などの受託作業③一般企業、公共施設において委託された作業の施設外授産④民間企業の豆富及び関連商品の販売⑤自動販売機管理、各種イベント等での物品販売などのその他の作業、がある。分場では①クリーニング等の取次業②施設外授産③豆腐等販売、がある。授産作業のメニューは利用者の希望を聞き体験してもらい適性を見た上でケース会議などで決定している。希望と違う場合も必ず利用者と家族に説明し合意を得ている。

工賃は法人で作成した工賃規定に基づいて支給している。内容は①作業として活動に参加した日数に応じ同額の単価で支給する基本給②利用者個人の作業能率に応じた能率給の合計金額を毎月現金で支給している。他に年2回の一時金も支給されている。毎月工賃は明細の入った封筒を主任が現金で手渡している。家族のなかには明細が家族には送られてこないとの声もあるが施設としては利用者を自立した社会人とみなし今後も送る予定はない。現在、法人では評価方法、評価基準を利用者にわかりやすいように改定しているところである。

年に1回就労の決まった利用者のための壮行会を実施したり、就労した元利用者のOB会なども組織して利用者の働く意欲が盛り上がるような取り組みがされている。またアフターフォローも含めた就労支援ができるように担当職員を配置して定期的に訪問し就労が継続できるよう相談にのったりしている。施設外授産のクリーニング工場には職員がジョブコーチとして職場と一緒にいることにより、職場環境が改善されたり会社の職員の障害者に対する理解が深まっている。

評点	A
	○ 授産活動のメニュー等は、利用者の希望や特性により選択できるようにしている

標準項目	○	利用者が活動しやすい環境を整えている
	○	利用者一人ひとりのニーズに応じたその人らしさが発揮できる活動を用意している
	○	工賃は利用者との合意に基づいて支給している
	○	利用者の働く意欲を盛り立てる取り組みを行っている
	○	就労可能な利用者には、就労に向けた相談や具体的な支援を行っている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

### 3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している

#### 講評

栄養士が中心となり、利用者・家族への嗜好調査を実施しデータを細かく分析してメニュー作りに生かし、専任の調理師により自主生産している。また毎日施設職員による検食を行い味付けや量などを確認したり法人内で給食委員会を作り満足度の高い給食作りをする努力がされている。給食委員会のメンバーは栄養士・調理師・施設職員・居宅職員・施設の管理者で構成されている。今後はより利用者のニーズに応えられるよう利用者も給食委員会に参加できる環境作りを期待したい。

特別食は、腎臓食・高血圧の人のためのメニュー・糖尿病予備軍の利用者のためのメニュー・アレルギー食・荒刻みなどである。給食の時間は2名の職員が食堂におり利用者の食事を見守っている。食事時間は利用者同士が助け合ったり、栄養士と調理師が利用者と一緒に食べたりして和気あいあいとした雰囲気のなかで食事している。

介助が必要な利用者は4名いる。内訳としては食事をひっくり返してしまう利用者、摂食に促しが必要な利用者、車椅子の利用者、食事に時間がかかる利用者である。それらの利用者には職員がマンツーマンでつき介助や促しをしている。建物の構造上食堂は2階にあるため、車椅子の利用者等は食堂ではなく1階の休憩室で食事している。

評点	A <sup>+</sup>	
標準項目	○	利用者の希望や職員の意見を反映し、バラエティーに富んだ飽きのこない食事を提供している
	○	利用者の状態やペースに合わせて食事がとれるよう、必要な支援を行っている
	○	食事時間が楽しいひとときとなるよう環境を整えている
A+の取り組み	・基準外の栄養士を法人で採用し、利用者の栄養管理や健康に配慮したメニューづくりに力をいれ、専任の調理師により調理している。なかでも嗜好調査は以前は個別に聞き取り調査をしていたが平成18年度はアンケートを家庭に送り利用者、家族に答えてもらったり、家族向け試食会をしている。これらの結果を食事内容は量や味付け、献立内容はご飯や麺類・野菜料理・肉料理など細かく集計し、利用者のニーズに応えられるよう努力がされている。またメニューを家庭に配布し、食生活の改善に役立ててもらっている。	

[このページの一番上へ](#)

### 4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている

#### 講評

身の回りのことは自分で行えるように本園では①ロッカーをきれいにする②昼休みのお茶当番③一日の終わりは片付け・掃除をする。分場では①備え付けの洗濯機で自分の服を洗う②姿見を置き利用者同士お互いに服の乱れをチェックしあってお客様に不快感を与えないようにする。など取り決めをしている。しかし、最近ではADL(日常生活動作)が低下している利用者も出ているため「出来ないことは出来ないと言える勇気を持つ」と方針転換した。

衛生面・安全面に配慮した支援を行うために、利用者意向に沿い、トイレの床が滑って転倒する利用者もいたため、トイレの床を滑りにくい素材に替えたところ滑って転倒する利用者はいなくなった。またADLの低下が見られる利用者や障害のある利用者のために和式便器から洋式便器に替え利用しやすくした。トイレ掃除は利用者が行っているが、仕上げは必ず職員が行い清潔に使用できるようにしている。

評点	A	
標準項目	○	利用者の状態やペースに合わせて、日常生活上の必要な支援を行っている
	○	必要に応じて、身の回りのことは自分で行えるよう働きかけている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

## 5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている

### 講評

利用者の健康を維持するために年に一度の総合健診、2ヶ月に一度の嘱託医の内科医による定期健診、月に一度の体重・血圧測定、年1回の歯科検診、年2回の細菌検査を行っている。総合健診は本園に検診車が来て、血圧・レントゲン撮影・心電図・聴力検査・尿検査などを行っている。検診の結果は家族にも知らせている。また健診結果を法人の栄養士にも見てもらいメニューに反映したり献立表の下の余白に「栄養メモ」として清涼飲料水の糖分の量などを載せ利用者が食事を通して健康について考えることが出来るよう工夫がされている。

来所してきた際の顔色や利用者の様子を見て必要と思われる人にはその都度バイタルチェックをしている。熱発がある利用者は家族に連絡したり、施設にある医務室で休んでもらったりしている。通院に関しては療育センターを利用したり必要とあれば職員が家族と共に受診の際に同行している。同法人のグループホームから通所している利用者は主にグループホームの職員が通院に同行しているが、その都度施設とグループホームと情報交換をし健康が維持できるよう支援している。

現在、服薬介助が必要な利用者は1名で薬は職員室の鍵のかかるロッカーに入れて保管している。服薬介助は昼食当番の職員が行っており、その都度ロッカーから一回分を持ち出しその際にチェック表にチェックしている。他に自己管理で服薬している利用者は3名いるが、その3名については特にチェックはしていない。

評点	A
標準項目	○ 健康状態に関して、利用者の相談に応じ、必要に応じて利用者や家族に説明をしている
	○ 必要に応じて、通院や服薬等に対する助言や支援を行っている
	○ 服薬管理は誤りが無いようチェック体制を整えている
	○ 利用者の体調変化(発作等の急変を含む)に速やかに対応できる体制を整えている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

## 6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている

### 講評

施設では障害者自立支援法の施行に伴い、授産施設は仕事をする場、として位置づけているため、日常のレクリエーションは希望者のみ行われている。内容は毎週水曜日のミュージックセッション、月に一度の体操教室などがある。その他の利用者は法人の事業として行われている居宅介護事業(ライフネット)、親の会が行っている事業等を必要に応じて利用している。

利用者による自治会は月に一度行われ支援職員が同席し利用者自身が自分の意見を言えるよう支援している。自治会では利用者自身が決め事を話し合ったりしている。本園では日常生活上のルール(ガムはきちんと捨てましょうなど)分園では行事や仕事に関する意見を話し合ったりしている。歓迎会などは利用者が企画を話し合ったりチラシ作りをしたりしている。反面利用者の意見が施設運営に反映するまでには至っていないと施設側も感じており、利用者の意見が反映できる体制づくりに取り組んでいる途中である。

建物は築20年と年数が経過しているが、作業室の間仕切りや扉の設置、壁の塗り替え、2階テラスの人工芝を敷くなど室内外とも整備されている。食後の口腔ケアのセットなどは洗面台の壁に個別に整理され利用者が使い易いように配慮されている。またトイレの照明が以前は入り口のスイッチを切ると全部消えてしまっていたのを個室は感应式に変えたことで安心して個室トイレが使用できるようになった。休憩室も独立して設置され給茶器も設置されゆっくり休める環境ができています。

評点	A
標準項目	○ 行事やレクリエーションのプログラムは、利用者の特性や嗜好を考慮し、多様な体験ができるようにしている
	○ 室内は、採光、換気、清潔性など居心地のよい環境となるようにしている
	○ 日常の生活に関するきまりごとについては、利用者等の意見を参考にして見直しをしている
	○ 利用者同士が意見を言う機会があり、その意見等を施設運営に反映できるようなしくみを整えている
	○ 行事やイベントの企画・準備は利用者も参加して行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

## 7. 施設と家族等との交流・連携を図っている

## 講 評

家族会は家族の希望により、平成18年度は施設長主催が4回施設職員主催が6回予定されており、家族への交流機会を増やしている。現状では、本園では50%くらいの家族が出席にとどまり、分場ではほとんど出席者がいない。グループホームから通所している利用者の家族は家族会で情報交換をしている。施設の家族会で話し合われた内容はその都度知らせていないが、全体家族会の際はその内容を知らせている。

日常の様子を伝える手段としては、必要に応じて連絡帳を活用したりその都度電話で連絡したりしている。また要望や必要に応じて個別面接も行っている。場合によっては週に1回の頻度で面接している家族もいる。その反面安定している利用者に関しては1年以上家族と施設側が面接していないケースもある。家族は細かいことを知りたいと思っているが、利用者本人の意向を尊重し伝えられない場合もある。

家族との協調は法人の懸案事項でもある。一施設一法人から始まった事業を様々なニーズに沿って多角的に事業展開している経緯があり、家族の「私たちの施設なのに」という思いが強くなかなか家族の理解を得られない部分もある。施設側は利用者の意向を尊重しつつ、家族とも気軽に話ができる関係づくりをしていきたいと考えている。

評点	A
標準項目	○ 家族等との交流・連携に際して、利用者本人の意思を確認し、その意向に基づいた対応をしている
	○ 利用者の日常の様子や施設の現況を家族等へ知らせる手段を整えている
	○ 必要に応じて、家族等への情報提供や支援をしている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

## 8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている

### 講 評

歓迎会、けやきフェスタへの行政・地域住民を招待したり、ニコニコボーリング大会（地域のロータリークラブ）、盆踊り（地元自治会）への参加を促したりして地域との交流を深め利用者の生活の幅を広げるための取り組みがされている。また地元の自治会と「ふれあい防災協定」を結び合同防災訓練である「ふれあい防災訓練」を行っている。

法人全体でも「地域」という視点は重視している。月1回の地域障害施設のネットワークでの情報交換、障害者団体の連絡会に法人から職員を派遣したり、講演会に参加し障害者について話をしたり、障害者にもできる仕事を知ってもらう努力がされている。ボランティアや実習生の受け入れよりも地域に出て行く方にウエイトをおいて、施設や障害者を地域の人に知ってもらうことで共存していきたいと考えている。これは法人の「地域で共に暮らすために」という考えに基づいている。

地域の資源の情報提供として掲示板に地域のお祭りの掲示や別の事業所の情報を提供している。また法人内・外の居宅系サービスの情報も必要に応じて提供しており利用している利用者も数名いる。具体的に「遊園地に行きたいが行き方が分からない」などの相談があった時にはガイドヘルパーの利用についてアドバイスしたりしている。また授産のメニューである豆腐販売、クリーニング取次ぎを通して地域に浸透しており、利用者の幅が広がっている。

評点	A
標準項目	○ 地域の情報を収集し、利用者の状況に応じて提供している
	○ 必要に応じて、利用者が地域の資源を利用し、多様な体験ができるよう支援している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)